

### 2013 年度日本光学会総会

2013 年度日本光学会総会を下記の通り行いますので、会員の皆様はご出席くださるようお願いいたします。

日 時：2014 年 3 月 18 日(火) 13:00~13:45

場 所：2014 年第 61 回応用物理学会春季学術講演会会場  
(青山学院大学相模原キャンパス、相模原市中央区淵野辺 5-10-1)、会場番号 E18。会場番号は変更の可能性があるので、応用物理学会誌もしくは応用物理学会ホームページでご確認ください。

### 2014 年度幹事選挙結果報告

2014 年度の選挙の開票結果について報告いたします。

開票日：2013 年 12 月 18 日(水) 13:00 ~

開票者：渡辺幹事長、伊藤庶務幹事

幹事会推薦候補者得票数：129

幹事会推薦以外(記名)：0

幹事会推薦候補者不信任：3

白票：0

以上の結果をもって、2014 年度の幹事には幹事会推薦候補者 21 名が選出されました。

### 日本光学会 2013 年度第 2 回常任幹事会

2013 年 11 月 25 日(月)に、応用物理学会会議室(湯島)において開催されました。第 200 回幹事会議事録の確認、「光学」編集報告、「OPTICAL REVIEW」関連報告、OPJ 2013 開催報告、HP リニューアル進捗報告、日本光学会幹事選挙について報告がなされました。また、協賛依頼について、収支計算書、2014 年度の予算最終報告、光みらい奨励金進捗報告、光学論文賞報告、広告代理店の変更について、OPJ 2014 実施に対する予算額変更について、2014 年度支出予算の再検討(15%削減)について、報告および審議がなされました。なお、詳しい幹事会議事録は「光学」第 43 巻第 3 号に掲載予定です。

### 第 270 回「光学」編集委員会

2013 年 11 月 18 日(月)に、応用物理学会会議室において開催されました。最初に前回編集委員会議事録の確認がなされ、次に、第 43 巻第 9 号・第 10 号の企画決定、第 43 巻第 11 号・第 12 号の第二次構想案、第 44 巻第 1 号・第 4 号の第一次構想案の審議、第 44 巻第 2 号・第 3 号の担当決定が行われました。その後、書評、光科学および光技術調査

委員会(関東、関西)、論文投稿・審査状況、各号の進捗状況、会計関係、幹事会関係の報告がなされました。

### 2013 年度光学論文賞

2013 年度(第 55 回)光学論文賞は、佐藤琢哉氏(東京大学)ならびに久武信太郎氏(大阪大学)が受賞されることになりました。受賞対象論文は次のとおりです。

○佐藤琢哉氏：

T. Satoh, Y. Terui, R. Moriya, B. A. Ivanov, K. Ando, E. Saitoh, T. Shimura and K. Kuroda: "Directional control of spin wave emission by spatially shaped light," Nat. Photonics, **6** (2012) 662-666.

○久武信太郎氏：

S. Hisatake and T. Nagatsuma: "Continuous-wave terahertz field imaging based on photonics-based self-heterodyne electro-optic detection," Opt. Lett., **38**, No. 13 (2013) 2307-2310.

2013 年度日本光学会総会にて授賞式を行います。授賞式後、記念講演を予定しております。

日 時：2014 年 3 月 18 日(火) 13:00~13:45

場 所：2014 年第 61 回応用物理学会春季学術講演会(青山学院大学相模原キャンパス、相模原市中央区淵野辺 5-10-1)、会場番号 E18。会場番号は変更の可能性があるので、応用物理学会誌もしくは応用物理学会ホームページでご確認ください。

選考委員は下記の通りでした。

委員長：岩井俊昭(東京農工大)

委員：佐藤俊一(東北大)、各務 学(豊田中研)、石丸伊知郎(香川大)、森田隆二(北大)、早崎芳夫(宇都宮大)、富田康生(電通大)、伊東一良(阪大)

### 2013 年度 Optics & Photonics Japan ベストプレゼンテーション賞

2013 年度 Optics & Photonics Japan ベストプレゼンテーション賞は、選考委員会において慎重に審査した結果、下記の 4 編が選ばれました。本賞が今後とも、受賞者の方はもちろん、若手の研究奨励に貢献することを期待します。

なお、応募講演数は 102 でした。

受賞者：

○山崎洋人氏(慶應義塾大学)「紫外光励起によるシリコン界面局在光を用いた高感度 DNA ナノポア通過観

察」(共著者:木村真二,塚原睦,伊藤晋太郎,江刺家恵子,斎木敏治)

- 高橋里枝氏(埼玉大学)「半導体レーザカオス発生用光集積回路を用いた物理乱数生成」(共著者:秋澤康裕,内田淳史,原山卓久,都築健,砂田哲,吉村和之,新井賢一,デイビスピーター)
- 坂本盛嗣氏(北海道大学)「複数の軸対称偏光素子を利用したリング状光格子の生成(III)」(共著者:岡和彦,森田隆二,村上尚史)
- 橋谷田俊氏(分子科学研究所)「アキラな2次元金ナノ構造体における局所光学活性」(共著者:成島哲也,岡本裕巳)

選考委員は以下の通りでした。

委員長: 渡辺正信(産総研)

委員: 菊田久雄(大阪府立大), 斎木敏治(慶應大), 西澤典彦(名古屋大), 岡田英史(慶應大), 山本裕紹(徳島大), 加藤聖子(シチズンホールディングス)

### 2013年度光みらい奨励金(コニカミノルタ科学技術振興財団賞)

日本光学会では, 光科学技術を新産業に結びつけていくことができる独創的な研究を支援することを目的として, 「新産業創出に向けた独創的な研究への奨励金—光みらい奨励金—」(後援:公益財団法人コニカミノルタ科学技術振興財団)を設け, 募集ならびに選考を行いました。その結果, 本年度の採択者を以下のとおり決定いたしました。

- 光みらい若手奨励金(30万円)

若山俊隆氏(埼玉医科大学)「ベクトルビーム分光法の創生」

- 光みらい学生奨励金(5万円)

小山美緒氏(千葉大学)「高出力光渦ファイバーレーザーの研究」

選考委員は以下の通りでした。

委員長: 岩井俊昭(東京農工大)

委員: 有本英伸(産総研), 池田貴裕(パイフォニクス), 大谷幸利(宇都宮大), 岡田英史(慶應大), 久武信太郎(阪大), 黒田和男(宇都宮大), 斎木敏治(慶應大), 的場修(神戸大), 松田博幸(コニカミノルタ), 水科晴樹(情報通信研究機構), 村上百合(東工大), 山口進(コニカミノルタ), 山口雅浩(東工大)

### 第39回光学シンポジウム講演募集「光学システム・光学素子の設計, 製作, 評価を中心として」

光学シンポジウムは, 光学設計者・技術者が日頃の研究, 開発の成果を発表し, 討論する場として毎年開催されています。2014年度の開催要領および講演募集を以下に示しますので, 多数の皆様の積極的な応募をお願いいたします。

期日: 2014年6月26日(木), 27日(金)

場所: 東京大学生産技術研究所 An 棟コンベンションホール(東京都目黒区駒場4-6-1)

主催: 日本光学会

応募講演の性格および内容: a) 原則として未発表のものとし, 既発表のものの一部重複があっても, 光学に関わる新規な内容が含まれていれば発表可能です。b) 内容は, 光学システムおよび光学素子の設計, 製作, 評価に関連した講演を中心として, 日本光学会の活動の全分野を対象とします。特に, これに関連した実際的な問題に踏み込んだ講演を歓迎し, また問題提起の講演も認めます。

講演方法および時間: 基本的に口頭発表とします。発表時間20分(質疑応答5分を含む)で, 発表形式はPCとプロジェクターを使用します(主催者都合で変更する場合があります。ご了承ください)。

応募資格: 日本光学会(個人, 賛助, 入会予定含む), 応用物理学会, SPIE, OSA, OSK および協賛の学協会会員。

応募方法: 光学シンポジウムのホームページで講演応募方法をご参照の上, 電子メールにて光学シンポジウム実行委員会講演担当宛(E-mail [optsymp39@gmail.com](mailto:optsymp39@gmail.com))にご応募ください。応募時に必要な情報: 題目, 氏名, 所属機関名, 英文題目, アブストラクト(200字以内), 講演関連情報のHPリンク(任意), 連絡先(郵便番号, 住所, 氏名, E-mail, 電話, Fax)。申込受付確認のメールを1週間以内に返送します。期限を過ぎてもメールの届かない場合はご連絡ください。講演プログラム・アブストラクトは2014年3月下旬公開の予定です。

応募締切: 2014年3月6日(木) 必着

予稿提出: 採用した講演については, 所定フォーマットの予稿(PDF形式の電子ファイル)を提出していただきます。詳細は, 後日案内予定の予稿原稿の書き方, ホームページをご参照ください。

予稿締切: 2014年4月21日(月) 必着

問合せ先: キヤノン(株) オプティクス12 開発室

須藤敏行

電話 028-667-5711 E-mail [optsymp39@gmail.com](mailto:optsymp39@gmail.com)

最新情報は光学シンポジウムホームページにてご確認ください。  
http://annex.jsap.or.jp/OSJ/meet/symposium/index.shtml

電話 045-851-2174 Fax 045-852-2913

E-mail [shoji-hajime@sei.co.jp](mailto:shoji-hajime@sei.co.jp)

URL <http://www.comemoc.com/>

### 第131回微小光学研究会「明るく照らす微小光学—照明技術の最前線—」

日時：2014年3月5日(水) 10:20~17:10

場所：早稲田大学グリーン・コンピューティング・システム (GCS) 研究開発センター 1F コンファレンスルーム (〒162-0042 東京都新宿区早稲田町 27)

主催：日本光学会微小光学研究グループ

共催：早稲田大学グリーン・コンピューティング・システム (GCS) 研究機構

問合せ先：小路 元 (住友電工)

### 新入会員

個人会員 (2013/11/16~2014/1/15)

	会員番号	氏名	所属
A	6104081	江口 稔康	日本ビクター(株)
	6104072	奥村 治	セイコーエプソン(株)
	学 6104068	河内 賢太	兵庫県立大学
	学 6104066	船引 勇佑	大阪府立大学
	6104070	三上 秀治	(株)日立製作所中央研究所
	6104069	八木 隆之	(株)小糸製作所
	6104071	山田 敦	ミネベア(株)
B	学 6104067	横山 潤平	兵庫県立大学
	0080348	落合 博昭	京セラ(株)
	学 0090313	佐藤 貴則	東京工芸大学
	0090311	丹野 雅行	信越化学工業(株)
	0056374	矢代 航	東北大学

### ご逝去

ご逝去の訃音に接し、ここに謹んで哀悼の意を表します。

会員番号	氏名	所属(旧所属を含む)	ご逝去年月日
6101601	佐久間秀夫	首都大学東京	2013/12/20

#### 日本光学会 news の掲載申込先：

〒112-8681 東京都文京区目白台 2-8-1 日本女子大学理学部数物科学科 小川賀代

電話 / Fax 03-5981-3633 E-mail: [ogawa@optnet.jwu.ac.jp](mailto:ogawa@optnet.jwu.ac.jp)

なお、掲載申込は原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 news」および「光学関連会合予定」の掲載基準 (<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/kogaku/news-keisai.html>) をご確認ください。

OPTICAL REVIEW Vol. 21, No. 1, January/February, 2014  
CONTENTS

**Letters**

A Novel Automatic Measurement Method of Laser Beam Divergence Angle Based on Two Linear Array Charge Coupled Devices Jing XIE et al.

**Regular Papers**

Characterizing Polarization Properties of Radially Polarized Beams Yuzhao MA et al.  
Multiframe Blind Deconvolution Applied to Diverse Shift-and-Add Images of an Astronomical Object Susumu KUWAMURA et al.  
A Time-Domain Projection-Based Registration-Scene-Based Nonuniformity Correction Technology and its Detailed Hardware Realization Ning LIU et al.  
A Method for Moving Objects Segmentation Based on Human Vision Perception in Infrared Video Bin SUN et al.  
Super-resolution Image Reconstruction Based on Tukey Data Fusion and Bilateral-Total-Variation Regularization Yan CHEN et al.  
Reliability Study on High-Power 638 nm Broad Stripe Laser Diode Hiroshi MITSUYAMA et al.  
Use of State of Polarization Transparent Scheme for Polarization Shift Keying Signal as Optical Phase Conjugator to Improve the Transmission Performance Md. Nur-AI-Safa BHUIYAN et al.  
A Spectrophotometric Method for Determining Linear and Predicting Nonlinear Optical Properties of Glass Substrates El-Sayed EL-ZAIAT  
Adaptive Estimation of Depth Map for Two-Dimensional to Three-Dimensional Stereoscopic Conversion Fan GUO et al.

---

**Special Section: The 2nd Laser Display Conference (LDC'13)**

---

**Regular Papers**

Miniaturized Highly Brilliant Diode Laser Modules for Future Display Applications Katrin PASCHKE et al.  
Speckle Control Using High-Frequency Signal Superposition to Semiconductor Laser Hiroshi MURATA et al.  
Color Speckle Kazuo KURODA et al.  
Nonuniform Intensity Distribution of the Scattered Light by Moving Diffuser across Projection Lens Pupil and Its Influence in Speckle Reduction Yasushi TOMITA et al.  
Verification of Speckle Contrast Measurement Interrelation with Observation Distance Koji SUZUKI et al.

**Author Index**

**Instructions for Preparation of Manuscript**

OPTICAL REVIEW Digital Archive  
<http://jasosx.ils.uec.ac.jp/OR/index.html>